

水温は「**平年並～やや高め**」で推移
(令和4年2月の海況と今後の予測)

令和4年2月18日
茨城県水産試験場

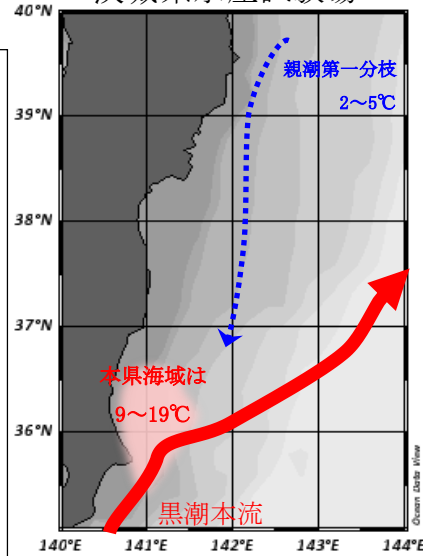


図1. 海面水温の現況
(2月13日)

※水温は平年値と比較して、
 ±1.5℃が「平年並」、
 ±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
 ±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
 ±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

1 海洋観測結果 (2/7～9: 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました(塩屋埼定線の水温データはFRA-ROMSより補完)。
- ・水温は0～50m深で9～18℃台、100m深で8～17℃台、200m深で7～15℃台でした(図2)。
- ・前月と比較すると、全体的に降温傾向となりました。特に沖合では前月よりも5℃以上降温した地点が確認されました(図3)。
- ・平年と比較すると、全層で「平年並～やや高め」が多くを占めました。大洗定線の142° E付近では「やや低め」となりました。
- ・潮流は大洗～犬吠埼定線の142° Eで真潮傾向、大洗定線の141° 15' E～141° 45' Eの範囲で逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海面水温の現況

- ・本県海域の水温は9～19℃となっています(図1)。
- ・黒潮は犬吠埼の東45マイルを東北東に流れています。黒潮の北限は145° E付近で38° Nまで達しており、北偏しています(2月16日発行の海洋速報より)。
- ・親潮第一分枝の南限は37° N、142° E付近に位置しています。

3 今後1か月の見通し

- ・黒潮の犬吠埼離岸距離は平年並(39～63マイル)で推移する見込みです。
- ・黒潮からの暖水波及が断続的に発生する可能性があります。
- ・親潮第一分枝が本県沿岸まで南下する可能性は低いでしょう。
- ・1か月後の水温は、「平年並～やや高め」で推移するでしょう。

※親潮第一分枝が本県海域まで南下した際は一時的に「低め」となる可能性があります。

(参考) 3月の表層水温(東経142度まで)の30年平均(1991-2020)

会瀬: 10～11℃台 大洗: 9～12℃台 鹿島: 10～13℃台 犬吠埼: 11～16℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 大森 健策)

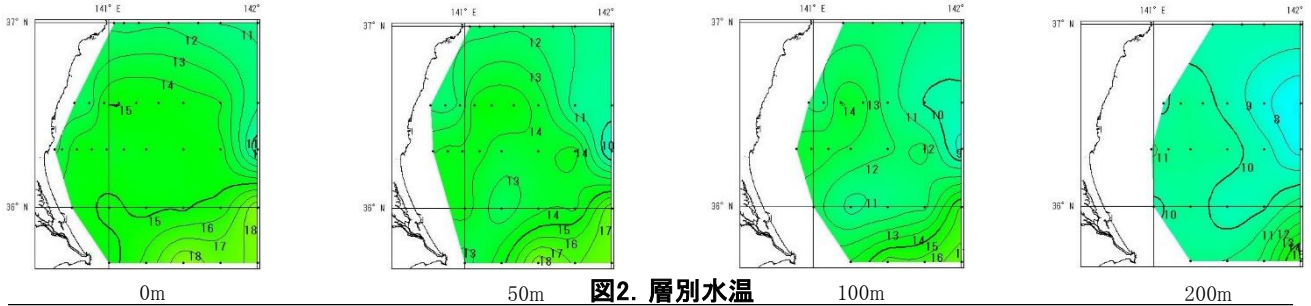


図2. 層別水温

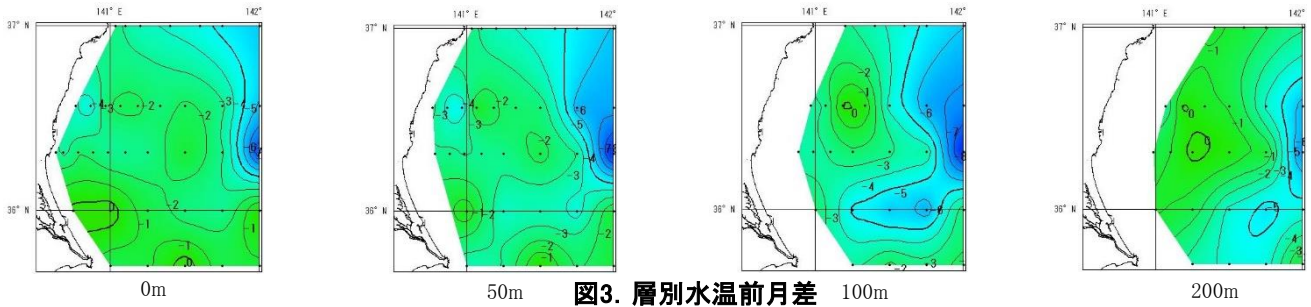


図3. 層別水温前月差

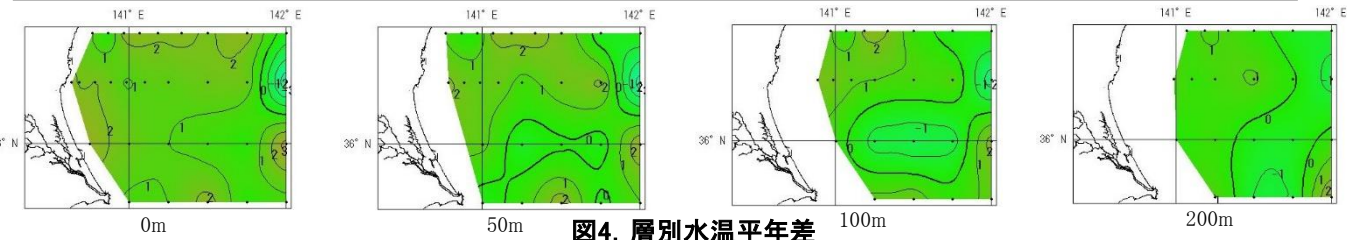


図4. 層別水温平年差

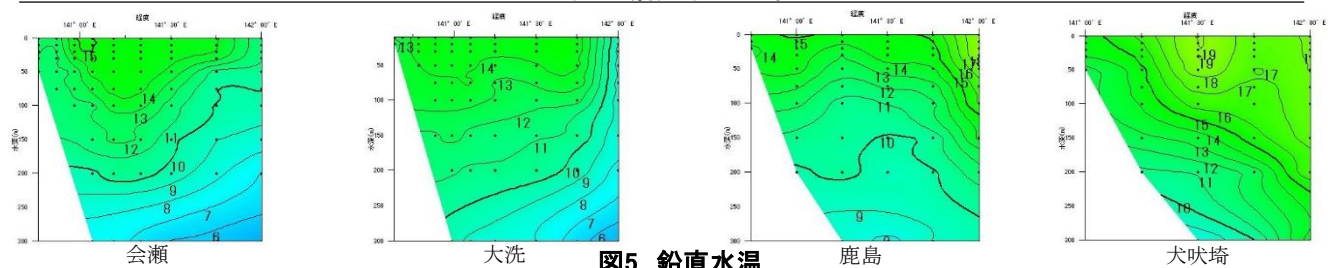


図5. 鉛直水温